

令和2年度第2回豊山町防災会議 会議録

1 開催日時 令和2年12月23日(水) 午前10時～午前10時45分

2 開催場所 豊山町役場2階 会議室1・2

3 出席者

(1) 豊山町防災会議委員

会 長	豊山町長	鈴木邦尚
委 員	東海農政局企画調整室長	宇木俊晴
	陸上自衛隊第35普通科連隊第3中隊長	堀江慎也
	西枇杷島警察署長	藤村洋一
	豊山町教育長	北川昌宏
	西春日井広域事務組合消防本部消防長	半谷浩章
	豊山町消防団長	尾野康雄
	中部電力パワーグリッド株式会社	
	北営業所長	塚腰浩章
	東邦ガス株式会社北営業所長	佐宗真一
	西日本電信電話株式会社名古屋支店	
	設備部部長	神谷浩一(代理)
	豊山小学校区自主防災会会長	林美知子
	新栄小学校区自主防災会会長	井上輝海
	志水小学校区自主防災会会長	岡島義広
	防災士	河村千恵
	とよ山内科クリニック副院長	金森典代(欠席)
	北名古屋水道企業団事務局長	水田勇夫
	豊山町赤十字奉仕団委員長	岡島 薫
	尾張中央農業協同組合豊場支店次長	上田秀卓
	西春日井農業協同組合青山支店長	山田賢治
	豊場区委員	安藤順二
	青山区委員	河村初男
	愛知県尾張県民事務所長	藤戸 聡
	愛知県尾張建設事務所長	小川秀史
専門委員	愛知工業大学工学部土木工学科教授	鈴木森晶
	名古屋大学減災連携研究センター	
	強靱化共創部門特任准教授	倉田和己

(2) 事務局

総務部長	小川徹也
防災安全課長	小塚和宣
防災安全課防災安全係防災官	中野裕二
防災安全課防災安全係主任	熊沢真吾
防災安全課防災安全係主事	大野隆一郎

4 議題

(1) 豊山町地域強靱化計画の策定について

(2) その他

5 会議資料

- ・会議次第
- ・委員名簿
- ・配席図
- ・豊山町地域強靱化計画概要版
- ・豊山町地域強靱化計画（案）

6 議事内容

【 司 会 】 定刻になりましたので、始めさせていただきます。

本日は大変お忙しい中、ご参集いただきましてありがとうございます。ただ今から「令和2年度第2回豊山町防災会議」を始めさせていただきます。

会議に入ります前に、今年8月の人事異動等で新たに委員になられた方1名に委嘱状の伝達を行います。新たに委員をお願いするのは、西日本電信電話(株)名古屋支店の神谷浩一さまです。よろしく申し上げます。

本来は町長が席に伺い伝達をさせていただいておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今回は、事前にお席に配布をさせていただきましたのでご確認願います。また、今回の会議から、地域強靱化計画の策定に当たり、愛知工業大学の鈴木森晶教授、名古屋大学の倉田和己特任准教授のお二人に専門委員として会議のメンバーに加わっていただくことになりました。あわせてご紹介いたします。

ここで、会長からご挨拶を申し上げます。

【 会 長 】 本日はお忙しい中、豊山町防災会議にご出席賜りまして誠にありがとうございます。平素は、町行政各般にわたり格別なご理解とご協力を賜ってお

りますことに対しまして重ねて御礼申し上げます。

近年は毎年のように大きな災害がやってくるような状況です。7月には豪雨災害があり、熊本では球磨川が氾濫し大きな被害が発生していました。また今年も、新型コロナウイルスで始まり、まだ収束のめどが立っていないまま年を終えようとしています。北海道では、新型コロナを災害として自衛隊による災害派遣が行われております。

災害時には、コミュニティの力が必要であると考えています。そのためにも、コミュニティの再興が特に重要であります。特に力を入れて進めていかなければならないと考えております。

本日は「豊山町地域強靱化計画の策定について」を議題とさせていただきます。

委員皆様の忌憚(きたん)のないご意見やご提案を反映し、今後の防災行政への対策と繋げていきますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、私のあいさつと致します。

【司会】 議題に入る前に資料のご確認をお願いします。

「次第」が1枚、「豊山町防災会議委員名簿」が1枚、「配席図」が1枚、「豊山町地域強靱化計画 概要版」が1枚、「豊山町地域強靱化計画(案)」が1部を配布しましたが不足等はございませんでしょうか。

それでは、議事に入ります。

議事の運営については、慣例により会長が行うこととなっておりますので、以後の進行を会長にお願い致します。

【会長】 それでは、ただいまから議題に入ります。

「(1) 豊山町地域強靱化計画の策定について」について事務局から説明をお願いします。

【事務局】 【豊山町地域強靱化計画(案)について説明】

【会長】 「豊山町地域強靱化計画策定について」事務局から説明がありましたが、本件についてご質問、ご意見がある方は、挙手ねがいます。

【委員】 県の後方支援拠点について記載があるが、現在どの程度決まっているのか。

【事務局】 青山地区に防災拠点を設置するというのみ決まっている。

【 会 長 】 9月の県の発表では、消防・警察・自衛隊等の宿営場所としての拠点及び救援物資等の集配の拠点として設置する予定。平時については県と名古屋市のそれぞれの消防学校をまとめた消防学校を設置していくこととされている。11月の県の補正予算で施設についての検討を行うこととされたため、現在詳細は検討中となっている。

【専門委員】 地域コミュニティについての記載があるが、災害時には行政に頼るのは限界がある。行政の職員も被災するため、コミュニティ単位で対応できるようにしていくことが大切です。その点を踏まえて計画を進めてほしい
また、防災拠点については、町民には何も使えないとならないよう、何らかの恩恵があるように計画を進めてほしい。

【 会 長 】 防災拠点については、災害時には町民に直接的に利益はないということは町民の皆さんに理解してもらう必要がある。大山川より北側に避難所が少ないため、現在防災拠点に合わせて、避難所となる施設の建設を検討している。

【専門委員】 ハザードマップの活用について研究している立場として意見を言わせていただくと、町内のハザードマップだけでは見えてこないものがある。県全体のハザードマップを見ると、豊山町は比較的被害の少ない地域にあり、加えて高速道路や空港などの立地にも恵まれた場所となっている。それらを踏まえ後方支援拠点が設置されることとなっているが、豊山町が愛知県の復興の玄関口として、町の復旧・復興が県の復旧・復興につながるようになると良いと思う。また、県内で一番小さな町として一番早く復旧・復興できる町になるよう前向きな考え方で計画を進めてほしい。

【 委 員 】 陸上自衛隊の伊丹の方面総監部で災害派遣の業務を行ってきたが、経験上、災害派遣先での対応時に、その地域のコミュニティが確立していないと、災害対応に影響が出ていた。地域コミュニティをしっかりと強化していけるよう計画を進めてほしい。

【 会 長 】 他にございませんでしょうか。

それでは本件について1月にパブリックコメントを実施し、それらの意見により修正があれば修正し2月の防災会議に再度お諮りをさせていただき、策定に向けて進めさせていただきます。

それでは続きまして「(2) その他」に入ります。

委員の方で何かご発言がありましたら、挙手願います。

【 会 長 】 何かございませんか。

ないようですので、本日の議題をすべて終わらせて頂きます。

ご協力ありがとうございました。これをもちまして「令和2年第2回豊山町防災会議」を終了いたします。大変お疲れさまでした。